

1月8日、令和2年度3学期が始まりました。始業式は、今回も放送で実施しました。今年度は4月の始業式と入学行事のみ全体

社高校校歌

1. 播磨国原(くにはら)
穂波(ほなみ)も豊か
昇る朝日を まともうけて
高く聳(そび)ゆる
我等(われら)が学舎(まなびや)
いざや守らん 学徒の使命
2. 瀬の音(と)さやかに
滝野の流れ
銀鱗(ぎんりん)おどる 若人の胸
高く聳(そび)ゆる
我等(われら)が学舎(まなびや)
いざやたどらん 輝く希望
3. 祖国の真中(もなか)
目路(めじ)もはるばる
さみどりにおう 社壇野(うれし)の
高く聳(そび)ゆる
我等(われら)が学舎(まなびや)
いざやかかげん 久遠(くおん)の理想

での集合で、以降はすべて放送での実施、全校集会も10月に一度だけでした。そのせいで、校歌を歌ったり、聞いたりする機会もなく、特に1年生は印象に薄いのではないのでしょうか。3学期は、校内放送でマスク着用、手洗い、教室の換気などの注意とともに、校歌を流してもらう予定です。大声で歌うことはできませんが、鼻歌程度で口ずさんでもらえればと思います。皆さん校歌を思い出しましょう。私の話は、F1レーサーの佐藤琢磨さんの「No Attack No Chance 攻めなければチャンスはない」という言葉を引用して、チャンスをつかむ人の特徴である「継続できる、努力家、出会いに積極的、逆境に強い、決断力がある、行動に移すのが早い、アンテナを張り巡らせている、準備をしっかりと整えている」ということを紹介し、チャンスを見逃さないために今年1年「継続すること、準備すること、決断すること、出会いに感謝すること」を心掛けるようお願いしました。どのようなチャンスが来てもいつでも対応できるように、チャンスが来ることを前提とした生活をするのが大切です。そういった気持ちで日々の生活を充実させ、自分磨きを進めてほしいと思っています。よろしくお祈りします。

さて、1月7日は暴風雪警報が出されていました。本来ならこの日は修学旅行に出発する日でしたが、予告通りの寒波襲来で私たち修学旅行団の乗る飛行機が欠航となっており、行くことにしていたらどうなっていたのかと何とも言えない気持ちになりました。また、7日夜に1都3県に緊急事態宣言が出されました。2月7日までとなっており、GoTo トラベル事業も停止延長が発表されました。2月27日実施の修学旅行ももうしばらく状況を見守る必要がありそうです。とにもかくにも今できる予防対策をしっかりとすることが私たちにできることですので、感染防止対策をしっかりとっていきましょう。

また、兵庫県も感染拡大が続くことから大阪、京都と合わせて宣言の要請を行うとの記事もありました。学校での休業要請は見送られるようですが、今後どのような制限がかかってくるかわかりません。やはり県をまたぐ移動とマスクを外した状態での長時間の会話等が大きな原因とされているようです。飲食業(飲食に係る一次産業含む)、観光業、そして移動にかかる航空等の交通関係の仕事など冷え込んでしまっている職業の方々にはさらなる大打撃となりますが、医療の逼迫や感染状況を考えると仕方のない部分もあり、感染防止と経済を両立させるのは難しいと言わざるを得ません。「お互いに」痛みを分け合う形にできればよいのですが、難しい問題です。日々の生活を安全安心に送るために知恵を出し合って前を向いていきたいと思っています。今後の行事計画も変更を余儀なくされる部分があるかと思いますが、ご協力のほどお願いいたします。

3連休中には、加東市では成人式が無事に行われました。かなりプログラムは簡素化されたようですが、久しぶりの同級生との再会に、そして成人としての思いも新たになったのではないのでしょうか。新成人の皆さんおめでとうございます。そして今後の活躍に期待しています。

さて、3連休中の寒波の影響を受け、12日は加東市でも雪が降り、道路も普段日陰になっているところでは積雪となるなど、交通にも影響が出ました。グラウンドや中庭もうっすらと積もるなど昨年と比べて寒さは厳しいようです。今週末もまた寒波が来るということで、体調の維持管理に気を付け、時間には余裕を持った行動を心掛けるようにしましょう。

この時期になると阪神淡路大震災に関係するニュースや記事をよく目にします。今でも当時のことを鮮明に思い出しますが、「支えあう」「地域における学校の役割」を学ばせていただきました。正直なところそれまでは学校はあるもの、周りから認められているものという認識でしたので、避難された方々からどのように学校のことを思われていたのかという話を聞くにつけ、学校があるのは当たり前のことではなく、地域の支えや協力があることだと痛感しました。今一度自分たちの行動を見直し地域に貢献できるようにしていきましょう。

